

事業評価シート

事務事業名	奨学資金事業	担当課名	学務課
総合計画の 主要施策名	個性と創造力をもつ子どもの育成	班名	学務班
		事業コード	4233

事業の目的	奨学資金は、教育機会均等を保証するため、経済的理由により大学、高校の修学困難な者に対し、学資を貸与し、有用な人物の育成を目的とする。			
事業の内容	上級学校に在籍し、経済的理由で就学困難な者に対して資金を貸与する。 ・高校 月額15,000円 ・短大、専門、大学 月額40,000円			
事業の対象	奨学生を志望する者で、次の条件を具備する者 (1) 身体強健、品行方正で学業優良な者 (2) 美郷町住民の子弟 (3) 学資金に困難である者			
事業コスト	区 分	H18決算	H19決算	H20予算
	事業費 (千円)	36,993	32,710	33,579
	うち一般財源等 (千円)	993	3,210	3,479
	人件費 (千円)			
総コスト +	36,993	32,710	33,579	

事業実績・成果 (指標)	名 称	単 位	H18年度実績	H19年度実績	H20年度(予定)
	新規貸与者	人	7	16	17
	当該年度未納額	円	322,000	356,955	-

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)				
十分できている	できている	あまりできていない	できていない	
総合評価	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている		
判定説明 及び考察	最近の経済状況を反映し、必要とする町民が増加する傾向にある。執行については、予算の範囲内で対応できている。歳入確保に向けて、債権者への催告の回数を増やす等対策をとっていきたい。			
事業の 方向性	さらに重点化する 現状のまま継続する 見直しのうえ継続する 事業の縮小を検討する 休止、廃止を検討する	評価委員意見	部局評価のとおり。	